

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	2-3-2	事業名	「創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)」の活用と推進				
担当	市民まちづくり局企画部企画課企画担当係 守屋 211-2192		経済局産業振興部産業振興課コンテンツ担当係 今泉 211-2379				
全体計画							
事業内容	[市]企画部 創造都市さっぽろとは、市民や企業などの創造性を引き出し、都市の活性化を図るとともに、創造性あふれる環境や人材について積極的に情報発信することで都市のイメージ・評価を高め、外部からの注目や投資を獲得していく施策であり、庁内横断でその取り組みを実施していく。 芸術の森地区を創造都市の推進拠点としていくために、芸術の森地区に立地する施設等による連携事業を実施 クリエイティブコモンズを活用した創造経済知財運用の啓発・普及活動を行う民間組織の支援 創造都市さっぽろ推進民間組織の発足		<年度別の事業内容>				
	[経]産業振興部 創造都市さっぽろの取り組みの中で、外需型産業として今後期待されるコンテンツ産業の分野において、本市への投資が促進されるよう、札幌の都市ブランドを効果的に表現・発信するためのVI戦略(Visual Identity)を定め、この戦略に基づくプロモーションを地域のクリエイターと連携して進めていく。 VIとは、目に見える部分によるブランド確立のことで、「創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)」を視覚的にアピールしていく方法		[市]企画部 【19年度】庁内研究会による推進手法の検討、市民公開セミナーの開催など 【20年度】創造都市さっぽろ芸術の森地区協議会の発足、アイコモンズ・サミットの開催など 【21年度】クリエイティブコモンズ研究組織の支援、戦略的広報事業の実施など 【22年度】民間創造都市推進組織の発足など [経]産業振興部 【19年度】都市ブランドの活用方策として、VI戦略を進め、基本となるデザインを取りまとめる 【20年度】19年度成果を元に、市内の若手クリエイター等をメンバーとしたワークショップを開催 【21~22年度】ワークショップ等の継続、拡大 【22年度】創造都市さっぽろのブランドを原資に、ビジネス化する法人の設立の検討(ブランド管理、商品化・商標権の販売など)				
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(予算)				
	[市]企画部 庁内研究会「創造都市さっぽろ推進検討委員会」を発足をさせ、学識経験者の助言を得ながら、創造都市さっぽろの推進手法となる「創造都市さっぽろ推進検討委員会報告書」を取りまとめた。(5,000千円) クリエイティブコモンズの普及等を議論する国際会議「アイコモンズサミット2008」の誘致(6,468千円) 創造都市さっぽろ市民公開セミナーの開催(400千円) 芸術の森地区リスタート素案策定事業(2,478千円) [経]産業振興部 (財)さっぽろ産業振興財団への委託 (1)VI(Visual Identity)の策定:7,700千円 「創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)」の考え方を視覚的に表すVIを策定し、そのコンセプト、利用法をまとめたマニュアルを作成し、マニュアルに基づくデザインを具体物に展開した(JR中央線と東急線の車内・構内用のPR映像、北海道洞爺湖サミットおもてなしロゴ、交通ICカード) (2)円卓会議の開催:3,500千円 「創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)」の実現に向けた具体的施策の議論と、VI戦略の重要性の提言の場として開催 IPビジネス研究会 著作権、著作権等の権利を活用したビジネス手法の習得を目的とした研究会を開催		[市]企画部 (1)アイコモンズサミット2008の開催(30,000千円) (2)創造都市さっぽろ芸術の森協議会の設立 (3)クリエイティブコモンズの普及事業 (4)創造都市さっぽろセミナーの開催 (5)創造都市さっぽろ戦略的広報事業((2)~(5) 5,000千円) [経]産業振興部 (財)さっぽろ産業振興財団への委託 (1)創造都市さっぽろデザイン推進委員会(500千円) 都市ブランド推進におけるデザイン活用の制度および施策の構築・運用に関する研究・提言を行うデザイン推進委員会を立ち上げる。メンバーは市内のデザイナーの専門家 (2)ワークショップ開催(2,430千円) 地元クリエイター等の参加によるワークショップ等により、VIマニュアルのを具体的展開を進める				
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
民間創造都市推進組織の設置		-	-	-	-	設置	設置
IPビジネス研究会への参加企業数		-	15社	25社	35社	50社	50社
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 [市]企画部]創造都市さっぽろ市民公開セミナーの開催。150名参加。 [経]産業振興部]創造都市さっぽろの取り組みを発信するホームページをリニューアルしており、この中では、市民の意見を書き込むことができるフォーラムコーナーを設置し、さらに多くの意見を反映できるよう検討している。</p> <p>企業等との連携・協働 [その他の協力]VIマニュアルに基づく交通ICカードへの展開の際には、地元のデザイナーによるデザインコンペを行った。 芸術の森地区リスタート素案策定事業では、産学官で構成する検討会議を設置した。</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり [市]企画部]大学、企業、住民組織等で構成する創造都市さっぽろ芸術の森地区協議会の発足。企業、有識者等で構成するクリエイティブコモンズ研究会の発足。[経]産業振興部]平成20年度に設立する創造都市さっぽろデザイン推進委員会において、市民・企業参加型による効果的なデザイン展開方法について議論していく。</p>							

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	2-3-2	事業名	「創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)」の活用と推進				
評価(成果)		課題					
<p>[市]企画部 創造都市さっぽろの推進の起爆剤となることが期待できるアイコンズ・サミットの誘致に成功し、同会議の開催やその後の普及活動により、映像や音楽のコンテンツ産業の振興に貢献していただくことが期待できる。 庁内研究により、創造都市さっぽろを推進していくための重点取り組みを設定することができた。</p> <p>[経]産業振興部 都市ブランディングを進めていく上での基本コンセプト、VI戦略の基となるデザインをまとめたマニュアルを作成し、VI戦略の基本方針の整備を行った。また、東京事務所、サミット支援担当部、交通局事業管理部との協働による、具体的な事例展開を行った。</p>		<p>[市]企画部 グローバルな都市間競争が激しくなっている中、都市力の向上策として、創造都市を標榜している都市が国内外に多数出現しているなか、札幌版創造都市の推進を着実に進め、国内外から注目され、創造的な活動の場を求めている人材が流入して都市としていくために、創造都市をコンセプトとした、活動の輪を広げて、効果的な情報発信をしていく必要がある。</p> <p>[経]産業振興部 VI戦略のマニュアルに基づき、積極的に具体物に展開し、事例を積み重ねていくことで、対外的な情報発信を進めていき、市民に更に浸透させていく必要がある。</p>					
今後の事業の予定・方向							
<p>[市]企画部 創造都市さっぽろを推進していくきっかけ、象徴となるエリアを設定して多面的な活用をすることにより、新しい価値観や相互関係を創造するとともに、具体的活動を誘発していく創発による市民、企業の参加を促進していく。</p> <p>[経]産業振興部 創造都市さっぽろを効果的に情報発信するため、庁内の創造的、先進的事业に対してVIの活用を働きかけていく。VIを地元の企業を含め多くの人が活用できるための効果的な展開方法を検討する。平成19年度に整備されたVIを活用し、札幌の良質なイメージを醸成・発信することで、クリエイティブ企業・人材の進出、定着や注目度のアップなど、域内への投資促進を進めるキャンペーンとして展開する。</p>							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	14,500	32,000	17,000	16,500	80,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	14,500	32,000	17,000	16,500	80,000		
予算	事業費	21,800	38,500	-	-	60,300	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0
		市債	0	0			0
		その他	0	0			0
一般財源	21,800	38,500			60,300		
実績	事業費	20,466	-	-	-	20,466	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	0				0
一般財源	20,466				20,466		
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				73.7%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度] 計画事業費に計上されていない創造都市さっぽろ推進研究費の予算を補正したため、計画事業費を上回る予算・実績となった。							
[20年度] アイコンズ・サミット開催費の増などにより計画事業費を予算が上回った。							